

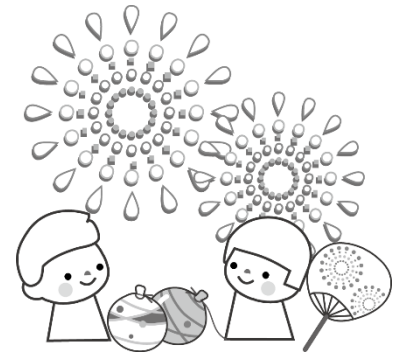


美瑛町ことばの教室 2024・7・17 No. 5 (通算379)

1学期ありがとうございました

1学期も残りわずかとなりました。どんな1学期だったでしょうか？新しい環境に慣れ、4月よりものびのびとしている我が子に安心した方も、成長したが故に、新たに心配が出てきたという方もいらっしゃるかと思います。先日行われた学習会・研修会でも、子供たちの成長をどう支えていくか、みんなで考える良い機会になりました。

1学期中、ことばの教室の面談や付き添いに、たくさんご協力いただき大変感謝しております。ありがとうございました。夏休み明けに、また子供たちの元気な顔が見られることを楽しみにしています。



____年 組 _____さん

____通級時間は _____曜日 _____時間目 (_____ : _____ ~ _____ : _____) です

※色のついているところが通級日です！

8月の予定

- 19日(月) = 2学期始業式
- 23日(金) = 職員講習会のため午後休室
- 29日(木) = 研修会のため午後休室
- 28日(水) ~ 29日(木) = 美瑛小6年生修学旅行

天気がいい日は、感覚統合の視点から、外で水遊びをすることがあります。保護者の皆さんも帽子や飲み物、タオル等をご持参ください。



月		火		水		木		金	
	夏期休業					1		2	
5		6		7		8		9	
12	振替休日	13	学校閉庁日	14	学校閉庁日	15	学校閉庁日	16	
19	2学期始業式	20	通級指導開始	21		22	特	23	午後休室
26		27		28		29	午後休室	30	

※「特」の表記は美瑛小学校が特別日課の日です。

接し方・伝え方のコツ

夏休みが近づき、ちょっと憂鬱になっている保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか…。「ゲームや YouTube がやめられない。」「何回言っても片付けない。」「宿題になかなか取り組めない。」「ダラダラして、準備が進まない。」など…。「イライラして、つい怒っちゃうんです…。」というご相談も少なくありません。発達に凸凹のあるお子さんには、一人ひとりの特性に配慮した「接し方・伝え方」のコツがあります。十人十色ではありますが、いくつかの例を紹介します。

対応の基本①「直接的に」



他のお友達はみんな片付けをしているよ。

今、遊んでいるおもちゃを片付けるよ。



含みのある言い方、察してもらおうとするような曖昧な言い方ではなく、やってほしいことを直接的に伝える。

対応の基本②「簡潔に」



宿題をやって、明日の準備をして、それが全部終わったら遊んでもいいよ。

まず、この宿題を終わらせてね。



一度にいくつものことを伝えたり、複数の指示をしたりするのではなく、できるだけ 1度に1つの内容を簡潔に伝える。
※見通しが立たないと不安になるお子さんには、チェックリストがオススメ。

対応の基本③「具体的に」



ちゃんと片付けて！

お茶碗とお皿を流しに持って行ってね。



「ちゃんと」「きちんと」「しっかり」など、抽象的・曖昧な表現ではなく、何をすべきか、いつまでにすべきかなど、数字も用いながら具体的に示す。

〈伝える時のポイント〉

① まず、気持ちを受け止めてから、求める行動の意味を伝える。

本人の気持ちを否定せずに、寄り添う。(オウム返して OK) その後に、メリット・目的を伝える。「私メッセージ」(『お母さんは、心配。』『お父さんは、嬉しい。』など、主語を自分にする。) で伝えるのもお勧め。

② 見通しを明確にする。

予定を見通すことや、突発的なことが苦手なお子さんも多いため、予定表などで見通しを明確に。変更は前もって丁寧に説明を。

③ 注意を引き付けてから伝える。

興味が他にいつている場合、視界の外から声かけをするだけでは、効果が薄い。お子さんの目線に合わせて、注意を引き付けてから伝える。

④ 否定や叱責・指摘より、肯定語で伝える。

「～しない!」「～してはダメ!」など、否定語の表現は、どんな行動を求められているかわからない場合がある。「静かにしようね。」など、その時に取るべき適切な行動を伝える。

